

第 14 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.02
	明治 2			

[問題 1]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 1902 年、日本はある国と同盟を結びます。この国の名前を答えなさい。
- (2) (1)で結んだ条約を何といいますか。
- (3) (1)の国が日本と同盟を結んだ理由を次の中から 1 つ選びなさい。
 - ア アメリカのアジア進出に備えるため。
 - イ 支配に抵抗する中国の民衆をおさえるため。
 - ウ 東アジアへの進出をすすめるロシアに対抗するため。
 - エ 日本への輸出を増やすため。

[解答欄]

(1) イギリス	(2) 日英同盟	(3) ウ
----------	----------	-------

[解説]

1900年	義和団事件	ロシアは満州を占領 朝鮮へも進出
1902年	日英同盟	イギリスと日本が ロシアの進出に対抗
1904年	日露戦争	

義和団事件後、ロシアは満州に大軍をとどめて事実上ここを占領し、朝鮮半島へも勢力をのばそうとしていた。当時の日本政府は、朝鮮半島がロシアの支配下に入ってしまうと、次は日本自体が危うくなるという危機感を持っていた。こうした、ロシアの中国への進出は、イギリスが中国にもつ権益も危うくするものであったので、イギリスは日本へ接近し、同盟の締結をもちかけた。政府部内では、強大なロシアと戦火を交えることは避けたいと満韓交換(満州はロシア、朝鮮は日本)で、ロシアとの妥協をはかりたいとする考えもあったが、軍事力に自信を持つロシアはこれに応じる様子はなかった。そこで、政府はイギリスと手を結んでロシアの動きに対抗することを決し、1902 年に日英同盟が締結された。

[問題 2]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 右の図は何という戦争の風刺画か、その戦争の名前を答えなさい。
- (2) 図の中の a、b、c にあたる国名を答えなさい。



[解答欄]

(1) 日露戦争	(2)a 日本	b ロシア	c イギリス
----------	---------	-------	--------

[解説]

図は日露戦争の風刺画である。b のロシアに a の日本が立ち向かい、c のイギリスが日本を後押ししている様子が描かれている。イギリスは中国の長江流域を勢力範囲にしていたが、満州をおさえ、さらに南下しようとしていたロシアに対抗するため、日本と 1902 年に日英同盟を結んだ。



[問題 3]

次の文の①～⑧に適語を入れよ。

1904 年、日本とロシアの間で(①)が始まった。日本国内では主戦論が圧倒的多数であったが、社会主義者の幸徳秋水、キリスト教徒の(②)、「ああ をとうとよ君を泣く…」という詩をよんだ(③)は戦争に反対の声をあげた。日本軍は苦戦を重ねつつも戦局を有利にすすめ、(④)海戦でも勝利をおさめた。しかし、日本の戦力は限界に達し、ロシアでも革命が起こるなど、両国とも戦争の継続が困難になった。

1905 年、(⑤)の大統領セオドア・ルーズベルトの仲立ちで講和会議が開かれ、(⑥)条約が結ばれた。この条約で、日本は(⑦)の南半分を獲得し、朝鮮における優越権や長春以南の鉄道の権利を得たが、賠償金を得ることはできなかった。これに対して国民の不満が高まり、各地で講和反対集会が開かれ、東京で(⑧)事件が起こった。

[解答欄]

① 日露戦争	② 内村鑑三	③ 与謝野晶子	④ 日本海
⑤ アメリカ	⑥ ポーツマス	⑦ 樺太	⑧ 日比谷焼き打ち

[解説]

1904 年、日本とロシアの間で日露戦争が始まった。社会主義者の幸徳秋水、キリスト教徒の内村鑑三、「ああ をとうとよ君を泣く…」という詩をよんだ与謝野晶子は戦争に反対の声をあげたが、当時のジャーナリズムは威勢のいい主戦論を書き立てていた。政府は巨大な軍勢力をもつロシアと戦うことには慎重で、何度もロシアと交渉を重ねた。しかし、ロシアとの間に妥協は成立せず、こうして、1904 年に日露戦争が始まった。日本軍は苦戦を重ねつつも戦局を有利にすすめ、日本海海戦でも勝利をおさめた。しかし、日本の戦力は限界に達し、ロシアでも革命が起こるなど、両国とも戦争の継続が困難になった。

1905 年、アメリカ大統領のセオドア・ルーズベルトの仲介によって講和会議が開かれ、ポーツマス条約が結ばれた。この条約で、ロシアは、1) 朝鮮における日本の優越権を認め、2) 旅順・大連の租借権、長春以南の鉄道の利権を日本に譲る、3) 樺太の南半分を日本に譲る、4) 北緯 50 度以南の漁業権を日本へ譲る、ことを認めた。このときの日本の全権は外務大臣の小村寿太郎であった。

しかし、賠償金を得ることはできなかった。これに対して国民の不満が高まり、各地で講和反対集会が開かれ、東京の日比谷では焼き打ち事件が起こった。

1904年	日露戦争 内村鑑三や与謝野晶子らの反対 日本海海戦などで勝利
1905年	ポーツマス条約 アメリカのセオドア・ルーズベルト 大統領の仲介 日本の全権：小村寿太郎 ・朝鮮での日本の優越権 ・旅順・大連・鉄道の租借権 ・南樺太の譲渡、漁業権 ・賠償金はとれず→日比谷焼き打ち事件

[問題 4]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 日露戦争の後、日本は朝鮮に韓国統監府を置き軍隊を解散させるなどして支配を強めました。初代の統監は誰でしたか。
- (2) 1910 年、軍事力を背景に朝鮮を日本の植民地にした。これを何といいますか。
- (3) (2)の政策を行った背景には、(1)の人物が暗殺された影響からでしたが、暗殺をした韓国の民族運動家は誰でしたか。
- (4) (2)の政策により、それまでの韓国統監府に代わって新たに組織され、朝鮮人の生活を制限した組織を何といいましたか。

[解答欄]

(1) 伊藤博文	(2) 韓国併合	(3) 安重根	(4) 朝鮮総督府
----------	----------	---------	-----------

[解説]

1905年	韓国を保護国化
1907年	韓国統監府
1909年	伊藤博文 が 安重根 に暗殺される
1910年	韓国併合 朝鮮総督府 を設置

日本は、日露戦争後、韓国統監府を置いて朝鮮の植民地化を進めた。

初代の韓国統監になった伊藤博文が、朝鮮人青年の安重根に暗殺された事件の後、1910 年に韓国併合を行った。

日本は、朝鮮総督府を設置して、武力を背景にした朝鮮支配をおしすすめ、学校では朝鮮史を教えることを禁じ、日本史や日本語を教えて、日本人に同化させる教育をおこなった。また、土地の調査を進め、所有権が明確でない土地を取り上げた。

[問題 5]

19 世紀後半から 20 世紀初頭の中国に関し、次の各問いに答えよ。

(1) 当時の中国の様子を説明した文章として正しいものを 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 当時の中国は、イギリスとロシアの 2 カ国からのみ侵略を受けていた。
 イ 当時租借地という期限付きで外国に土地を貸していたが、実質は領土と変わることはなかった。
 ウ 当時の中国は、明という国が支配していた。

(2) 1911 年、全国に革命運動がおこり、多くの省が独立を宣言した。このことを何というか。

下より選べ。

〔 太平天国の乱 辛亥革命 名誉革命 清教徒革命 〕

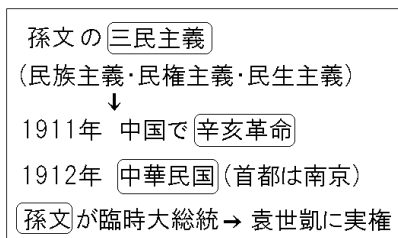
(3) 1912 年、アジア最初の共和国ができた。この新しくできた国名を答えよ。

(4) (3)の臨時大総統となった人物を答えよ。

[解答欄]

(1) イ	(2) 辛亥革命	(3) 中華民国	(4) 孫文
--------------	-----------------	-----------------	---------------

[解説]



中国では帝国主義列強の圧迫に対抗する動きが強まり、清を倒して民族の独立と近代国家の建設をめざす運動がおこった。

1911 年、**三民主義**(民族主義・民権主義・民生主義)を唱える**孫文**を中心にして**辛亥革命**がおこり、1912 年に孫文を臨時大総統とし、南京を首都とする**中華民国**が建国された。

[問題 6]

以下の各問いに答えなさい。

(1) 1911 年、中国で軍隊の反乱をきっかけにおこった革命を何といいますか。

(2) (1)の革命の翌年、中国に建国された国を何といいますか。

(3) (1)の革命の中心人物で、(2)の国の臨時大総統についたのはだれですか。

(4) (3)の人物が唱えた革命の指導理論で、民族の独立(民族)、政治的民主化(民権)、民衆の生活の安定(民生)を合わせて何といいますか。

(5) この頃、韓国が日本の植民地となるできごとが起きた。このことを何といいますか。

[解答欄]

(1) 辛亥革命	(2) 中華民国	(3) 孫文	(4) 三民主義	(5) 韓国併合
-----------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------